

TILL WE MEET

ENGLISH ADVENTURE

MONTHLY
No.270

For Our Members

Sep. 2007

アメリカ映画協会選出 名画ベスト 100

『市民ケーン』 1 位譲らず！

6月にアメリカ映画協会（AFI）が、歴代の映画の中で最も優れた映画 100 本を選出し、オーソン・ウェルズ先生が 25 歳の時に監督・製作・脚本・主演を手掛けた映画『市民ケーン』が堂々 1 位になりました。

ベスト 100 が書き換えられるのは実に 10 年ぶりですが、『市民ケーン』は前回と変わらず貫録のトップ！
いつまでも色褪せることのない
オーソン先生の名作を、みな
さんもぜひご覧になってみ
てください。



100年の

ナポリ編

リッチマン大旅行

イタリアあちこち、出会ったあれこれ

ヨーロッパを旅するとしてベスト1の国はどこかと問われたら、リッチマンは迷わずにイタリアを選ぶ。食事は美味しいし、ありあまるほどの文化遺産。それに人は明るくて親切、履き心地のいい靴やオシャレな服が現地価格で買える。この点でいつも感心させられるのは、日本人がこんなにわんさと押し掛けてもミラノやローマのブランド店は、日本人がたくさん来るからと言って値段を吊り上げるようなことを決してしない点である。世界中の空港の免税店では値段をどんどん上げて、ウイスキーのボトルがついに街のスーパーマーケットよりも高くなってしまったところもある。イタリアの商人魂をリッチマンはまず称えたい。とは言え、イタリアには危ないところもいろいろある。若い女性と見るとしつこく追い掛けてくる男たち、コソ泥に、インチキ客引きなどなど。そこで今回はイタリアの面白いところ、気をつけたいところの総集編！

彼女は本当にスチュワーデスだったのか？

歌と太陽の街などと宣伝されているナポリ。海は青く活火山のベスビオスがあり、その麓には有名なポンペイの遺跡がある。このナポリへ向かう車中でリッチマンは25才くらいの女性に声を掛けられた。ちょっとした美人である。航空会社に勤めていてスチュワーデスをしていると自己紹介する彼女は、いかにも世界中を飛び回っているらしく世界各国のワッペンを貼りつけたスーツケースを持っている。リッチマンがナポリへ行くとところだと言うと、彼女もそうだと言う。

旅は道連れとも言うし、第一彼女は美人だ。これから先の旅が楽しく

なりそうだ、などと思わないところがリッチマンの旅慣れているところである。彼女はむしろ、どことなく変だ。若い女性が初老の男に声を掛けてくること自体が変わっている。スーツケースに世界中のワッペンをベタベタ貼っているところもわざとらしい。リッチマンの頭に若い頃の体験がよぎった。友人と香港に遊びに行った時のことである。その時、悪友のHくんがポン引きに引っ掛かり、様々な制服を着た女性を紹介され、その全員からチップをふんだくられたことがあった。男が制服の女性に弱いところを狙った、程度の浅い詐欺である。香港での体験を踏まえ、いろいろ意地悪な質問をして相手の化けの皮を剥がすのも一計だが、リッチマンはそんなことはせず、相手に調子を合わせて上辺の会話に終止した。

ナポリのひとつ手前の駅に着くと、彼女はここで降りましょとリッチマンを急かせた。ナポリは次の駅のはずだからとリッチマンは動かずにいると、彼女はここで降りた方がいいの一点張り。リッチマンは頑として動かず、
「どうぞお先に」

と言うと、彼女は例のスーツケースを引きずって列車から降りて行った。窓から見てみると、列車から降りた彼女は何やら怪し気な男とホームの外れでヒソヒソ話をしている。やっぱり怪しい！ リッチマンは予定通り次の駅で降りるとそこは正真正銘のナポリ駅で、タクシーに乗るとホテルにもすぐ着いた。あの女の言う通り手前の駅で降りていたら、どうなっていたのだろう？ 男の車に乗せられ人里離れた山の中に連れて行かれて……まあ本当のところはわからないが、何ごともなくよかった。それとも美人スチュワーデスとのせっかくのチャンスを逃してしまった



ヨーロッパの都会では、繁華街をブラついているのは老人ばかり。若者や子供はどこへ行ってしまったんだろうと思うほど。
高齢化が急速に進む日本も、すぐこうなるはず



ヨーロッパのホテルは、高級でも部屋数の少ないところが多い。有名なショッピング通り《モンテナポレオーネ》に接して建つミラノの《ル・グランドホテル》は、5つ星だが、ご覧のようにちっぽけ
【ミラノの高級ホテル《ル・グランドホテル》】

のだろうか？ 今となっては神のみぞ知るである。

生々しいのだが、その絵のレベルは今の水準で言う子供が描く落書きのように幼稚なのがとてもおかしかった。

近代設備がもたらした大災害

A.D. 79年に起きたベスビオス山の大噴火でポンペイの街は1日でこの世から消えてしまった。しばらくその存在すら忘れられていたが、18世紀に発掘が始まり、街の大半が姿を現わした。発掘は今でも続けられていて、いろいろ発見があるようだ。遺跡は世界遺産にも登録されていて、毎日大勢の観光客が押し寄せる。火山灰に埋まる前のここは一体どんな街だったのだろう。昔の生活がタイムカプセルから取り出されたようで興味津々である。完全に舗装された石畳には深いわだちが出来ている。小さなコミュニティで毎日繰り返される生活風景が目につく。1軒1軒の敷地は広く、かなり豊かだったことが伺える。ただしどの家にも奴隷用の小部屋があって、その豊かさは奴隷の存在に支えられていたのだろうとわかる。これは太古から現代に至るまで続くヨーロッパ社会の矛盾点だ。

噴火で消滅する前のこの住民の平均寿命は異常に短く、30代で死ぬ人が大勢いたという。その原因がわかって現代の我々はがく然とする。この街の自慢は上・下水道の完備だった。公共浴場には壁から蒸気が吹き出すサウナ風呂まで完備していた。ところがこの近代設備に落とし穴があった。水道の管に鉛を使っていたのだ。鉛は軟らかく曲げやすいから工事もやりやすかったのだろう。ところが鉛中毒というものがあることに、当時の人たちは気づかなかった。毎日水を飲むたびに鉛を少しずつ摂取し続け、ついに原因不明の病に倒れ、せつかくの寿命を短くしてしまったというわけだ。近代設備を妄信せずに疑ってかかるのも、これからの我々に必要なのでは。

ポンペイのある大きな家の壁には生々しいポルノが描かれていて、その屋敷はプレイボーイの家などと呼ばれている。ポーズや色彩は大胆で

美術館の行列

ローマのところで書いたが、現在地球上の人口は10年で10億人の割で増えている。リッチマンが少年の頃地球の人口は15億だったが、それがこの半世紀の間に60億にまで増えてしまった。実に4倍である。そこへきて航空路の発達と高所得層の増加で、世界区の文化財に人が殺到するようになってしまった。“古きよき時代”と、ついこぼしたくなるが、リッチマンが若い頃は美術館に足を運ぶ観光客は酔狂な人が専門家くらいで、どこのギャラリーもガラガラだった。それがどうしたことだろう、今はどこの美術館でも長蛇の行列ができています。フィレンツェのウフィッチ美術館などはいつ行っても2、3時間は待たされる。ダヴィンチの壁画『最後の晩餐』があるミラノの教会は、ついに予約制になってしまった。しかも何人組かのグループに入れられ、決められた時間内に出てこなくてはならない。世界の人口が増えても古い文化遺産は増えないのだから、こういう現象になる。これからは、観光業社が作るパッケージに乗らないで自分なりの楽しみを見つけた方が、快適な旅行ができるかもしれない。

列車の旅はつづく

ナポリから一旦ローマに戻ったリッチマンは、これからフィレンツェ、ピサ、ベニス、ミラノの順で訪問する予定。では次をお楽しみに。

→ 次号につづく

ス・ガーバーはそう考えていた。ミス・ガーバーはぼくたちの高校で演劇の授業を担当する先生である。彼女は、自分がこれから演出するドラマへの情熱で燃えていた。演劇クラスの初日に先生を見てぼくはそう感じた。

その年、ぼくは演劇を選択するつもりなど最初からなかった。化学IIをとるか演劇をとるか選択に迷った結果、案外そうだったのでそっちに転んだだけだった。ノートもいらぬし、テストもないし、プロトンとかニュートロンとか七面倒くさい化学式を覚えなくてすむと思ったからだ。高校の授業で演劇ぐらい楽なものがあるだろうか？ これで充分昼寝ができると計算しながら選択の申し込みをしたばかりだった。夜遅くビーナッツを食べるにも好都合ではないか。

授業の初日、ぼくは遅刻した。ベルが鳴ったあとで教室に入り、クラスのうしろの席にすべりこんだ。ガーバー先生は生徒たちに背を向け、自己紹介するために自分の名を大きく黒板につづっていた。しかし、自己紹介などするまでもなく、みんなは彼女のことをよく知っていた。知らずにいるほうが無理というものだった。一八五センチの長身に、炎のような赤毛。血色の悪い肌は、そばかすをよく目立たせて、いかにも四十代の女性であることを証明していた。太りすぎでもあった——正直言って、九〇キロを超えているのではないか——それが好きなのか、いつも花柄のムームを着ている。太い角縁のメガネをかけ、誰にでも

「ハロウウウウ」と歌うように呼びかける。とにかく独特で、悪いことに、独身である。年齢を問わず、彼女に食指を動かす男などまじらないだろう。

彼女は黒板に書かれた自分の名前の下に、今年達成すべき目標を書いた。自信を持つこと、がその第一だった。第二は、自意識、第三は、自己の確立。だった。ガーバー先生は、自分が得意らしい。本人は気づいていないのだから、それだけはかなり人より先を行っていると言える。この分野の開拓者かもしれない。彼女自身の見かけと無関係ではないのは、つまり、彼女は、自己を主張することで、なんとなく自分自身の存在に安心感が持てているのではないだろうか。

話は横道にそれてしまったが、本題に移ろう。

ぼくはクラスに出席して初めて、ちょっとおかしいことに気がついた。ビューフォート高校は決して大きな学校ではなかったが、男女の数はだいたい同数のはずだった。ところが、演劇クラスは九〇パーセントが女性だった。それにはぼくも驚いた。ぼくのほかにもう一人男子生徒がいてくれて本当に助かった。右を向いても左を向いても女の子の子のなかで、ぼくは、世界の人たちよ、この勇敢なぼくに注目せよ。の心境だった。いくらテストがなくとも、女の子ばかりじゃ、緊張の連続でへとへとになってしまうのでは。いいだろう。ぼくは決して進歩的な若者ではない。

ガーバー先生はさっそうとクリスマス劇のことをとりあげ、この年の天使の役をジャミー・サリバンに決めたことをみんなに話すと同時に拍手を始めた。教会のメンバーでもあるガーバー先生は、牧師のヘグバートに色目を使っているとうわさが前から流れていた。その話を初めて聞いたとき、ぼくは、二人が子供をつくれなほど歳を食っていてよかったと思っ

た。透きとおるような肌にそばかすだらけの子供がきたらどうなる？ それを想像して、みんな身震いするくせに、ガーバー先生やヘグバートの耳に入る範囲では決してそれらしいことは言わない。当人に聞こえないうわさと、当人を傷つけるうわさは、まったくの別物なのだ。学校のなかでも、ぼくたちはそれほど意地悪ではない。

ガーバー先生はいつまでも拍手を続けた。彼女がみんなの拍手を誘っているのは明らかだったので、やがてクラスの全員が拍手に加わった。

「立ちなさい、ジャミー」

言われてジャミーは立ちあがり、周囲を見まわした。ガーバー先生は映画スターに送るように、さらに力強い拍手を続けた。

正直に言って、ジャミー・サリバンは気立てのいい子だった。ビューフォートは小さな町だったから、小学校は、つしかなく、卒業するまでぼくたちは全員が同じクラスだった。彼女と話したことがないと言ったら嘘になる。二年生のとき、ジャミーとぼくは一年間となり

同士の席だった。だから当然お互いに口はきいたが、かといって、休み時間も一緒に遊ぶほど仲よしではなかった。教室でとりに座る子供と、放課後に会う子供とはぜんぜん別の種類のものだ。その意味で、ジャミーがぼくの交際リストに入ったことはない。

ジャミーが可愛くなかったから、というわけでは決してなかった。ぼくを誤解しないでほしい。彼女は無口で陰気なわけでもなかった。幸いなことにジャミーは母親似だった。ぼくは写真でしか知らないわけだが、ジャミーの母親が結婚した相手のことを考えれば、その子供であるジャミーはいい線を行っていたと思う。でも、彼女はやせていて、髪の毛はブロンドで、目は明るい青であるにもかかわらず、ぼくが考える美人の基準には入らなかった。むしろ一見して平凡だった。

ジャミーは、みてくれを気にしない子だった。見かけよりも、内面の美しさ、を求めているのだろう。だからこそ、いつも平凡に見えたのかもしれない。ぼくが覚えていいるかぎり、彼女はいつも、独身主義者の女性のように、髪の毛をうしろに回して固く結んでいた。それに茶色のカーディガンをはおり、無地のスカートをはくと、まるで図書館へ就職の面接に行くような冴えない学生に見えた。そのうち彼女も変わるだろうと思っていたぼくたちが間違っていた。高校での三年間、彼女はまるで変わらなかった。変わったのは着ている服のサイズだけだった。

連載 小説 奇跡を信じて

ニコラス・スパークス 作 天馬龍行 超訳

第3回

★ 前回までのあらすじ ★

アメリカ、ノースカロライナ州の海に面した小さな町、ビューフォートでは、毎年クリスマスになると地元の高校生たちが、バプテスト教会のヘグバート牧師が書いた『クリスマスの天使』という劇を公演していた。観客が涙をボロボロこぼす感動的な物語に毎年劇場は満席になり、ランドン・カーター少年が高校生になる頃には、座席数の多い街の劇場で日に2回上演されていたほど好評だった。

一方、カーター少年の父親は下院議員を務めていた。1年のうち9ヶ月をワシントンで過ごす留守がちな父親は、町に戻ってきた時は必ずヘグバート牧師の教会に礼拝に出かけた。しかし、礼拝の中でのヘグバート牧師の政治的な言葉には目を閉じて聞かないふりを通すなど、2人の関係はいつもどこかぎくしゃくしていた。そして、2人がうまく行かない原因は政治だけではなく、もっと昔からいろいろとあったらしかった。

父さんより二十歳も年上のヘグバートは、牧師になる前、父さんの父親、つまりぼくの祖父に雇われていたのだという。ぼくの祖父こそ本当に人非人だったらしい。カーター家の財産を築いたのは彼だった。だからといって、他人をこき使いながら、自身も汗水流して蓄財に励むような男だったとは思わないでほしい。祖父はそれよりもはるかにずる賢い人間だった。

彼のやり方は単純だった。禁酒法の時代に、キューバからラムを密輸入して大儲けしたのだ。その金を元手に土地を買い、小作農を雇った。小作人にはタバコの葉を栽培させ、その利益の九〇パーセントを巻きあげ、小作人たちが困ったときは法外な利息で金を貸した。やがて彼は「インスピレーションを得た」と言って銀行業を始めた。カーター・バンキング・アンド・ローン。がそれである。そのあと、一つの郡にまたがる地域に前からあった唯一の銀行は不審火で焼け落ち、おりからの不況のせいもあって、再開することはなかった。火災の原因が何かを、みんなは知っていても、復讐が怖くて口にしなかった。不審火で焼け落ちたのは銀行だけではなかったから、住民が恐れおののくのも当然だった。

彼のとる利息が法外だったから、借金を払えなくなった農民たちから取り上げる土地がどんどん拡大していった。不況がもっとも深刻だったとき、彼は一つの郡で何十か所もそういう土地を抱えていた。土地を取りあげても、農民を追いださないとところが彼のうまいところ

だった。農民をそのまま労働者として使い、生きていくのによつとての給料を与えてタバコの栽培を続けさせるのだ。経済が回復したら土地は返してやるとの彼の言葉を農民たちは信じた。

しかし、約束が実行されたことはただの一度もなかった。

そのうち彼は郡経済の浮沈を握るようになり、その力を背景に、あらゆる機会を利用して政治に口を出した。こんな祖父だったから、やがて天罰のような非業の死を遂げることになった、と言いたいところだが、実際は幸せのなかで死んでいった。寿命と言っているほどの高齢で、息を引きとったのはケーマン諸島のヨットの中心、愛人と一緒に寝ているときだった。結局、彼は妻よりも人息子よりも長生きしたわけである。なかなかのものではありませんか？ 人生とはなんと不公平なのだろう。学校での一番に教えるべきはそのことではないか、とぼくは本気で思っている。

話を前に戻そう。ぼくの祖父が悪辣な人間であることを知ったヘグバートは、祖父の手伝いをやめて牧師の道に入り、やがてビューフォートの町に戻ってきた。そして、ぼくたちが家が通う教会を受け持つことになった、という次第である。

最初の数年間の牧師は熱に浮かされたように働き、月に一度の説教のときは欲深さの罪を説くあまり、ほかのことにふれることがほとんどできなかった。

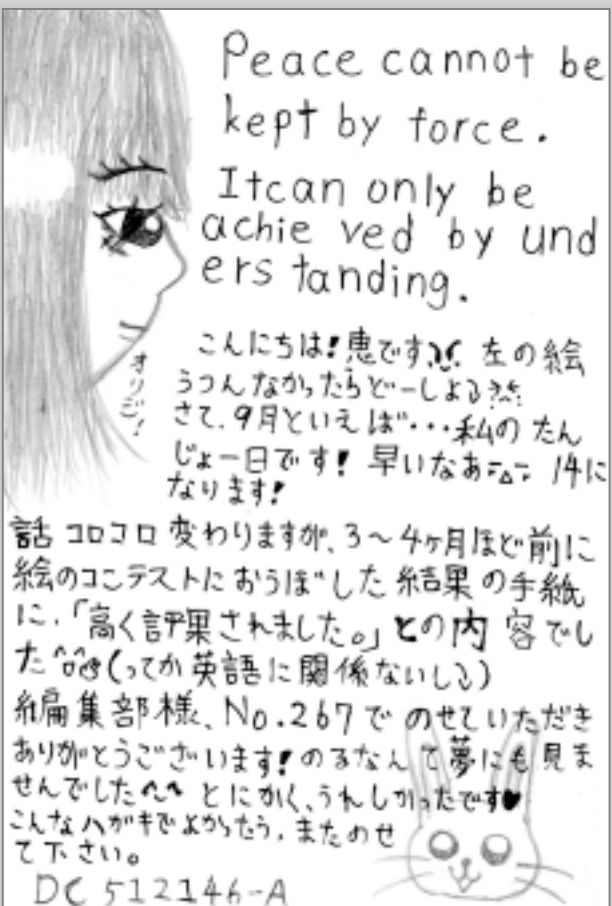
四十三歳で初めて結婚した牧師は、五十五歳のときに娘ジャミー・サリバンをもうけた。彼よりも二十歳若い、おらのようにほつそりした牧師の妻は、ジャミーを産む前に六回も流産していた。そして結局ジャミーを産んだときに死んでしまった。やもめにされたヘグバートは男親だけで娘を育てることになった。

当然、彼の書いた劇はこれらの悲劇が土台になっている。

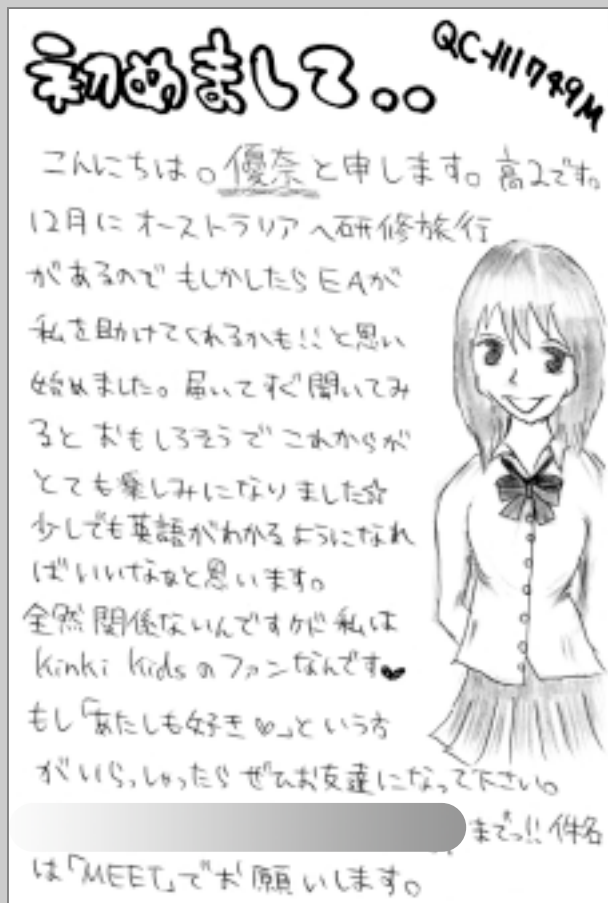
みんなは劇を見る前から話の向きを知っていた。ヘグバート牧師が赤ん坊に洗礼を与えたり、葬儀に出席したりしたとき、よく口にするエピソードでもあったからだ。クリスマスの劇を見る観衆があれば感動して涙を流すのはそのためだとぼくは思う。実話に基づいていることを、つまり、「クリスマスの天使」には特別な意味があることを、みんなは知っているのだ。

そのジャミー・サリバンは今頃と同じ高校に通っていて、今年の劇の主役「天使」を演じることに決まっている。初めから彼女に決まっていたわけではなく、チャンスはほかの子にもあったのだが、結局は彼女に落ちついたのだ。このことで、今年の劇は特別に盛りあがる、とみんなは感じていた。これまでで最大の見せ物になるかもしれない——少なくともミ

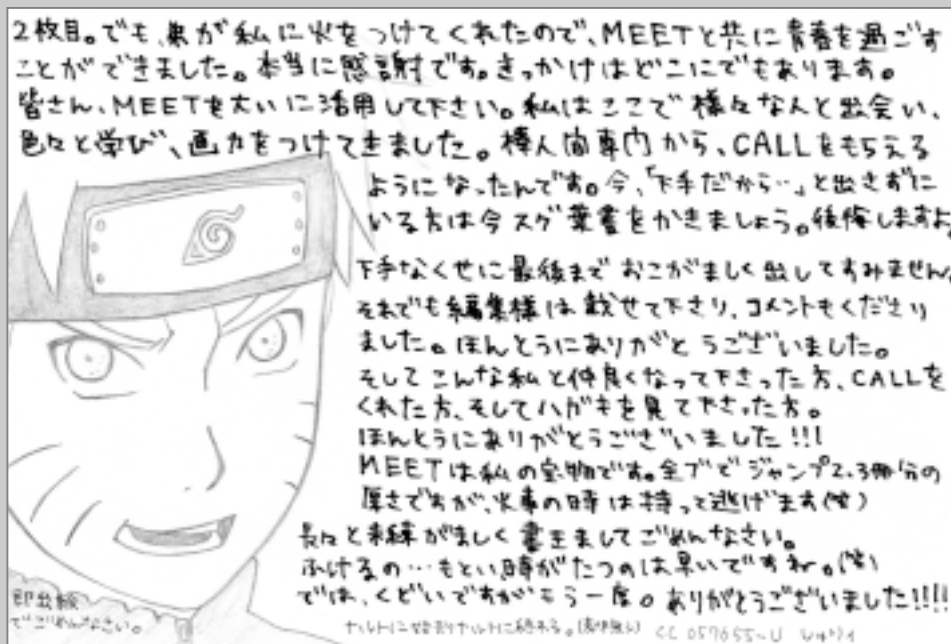
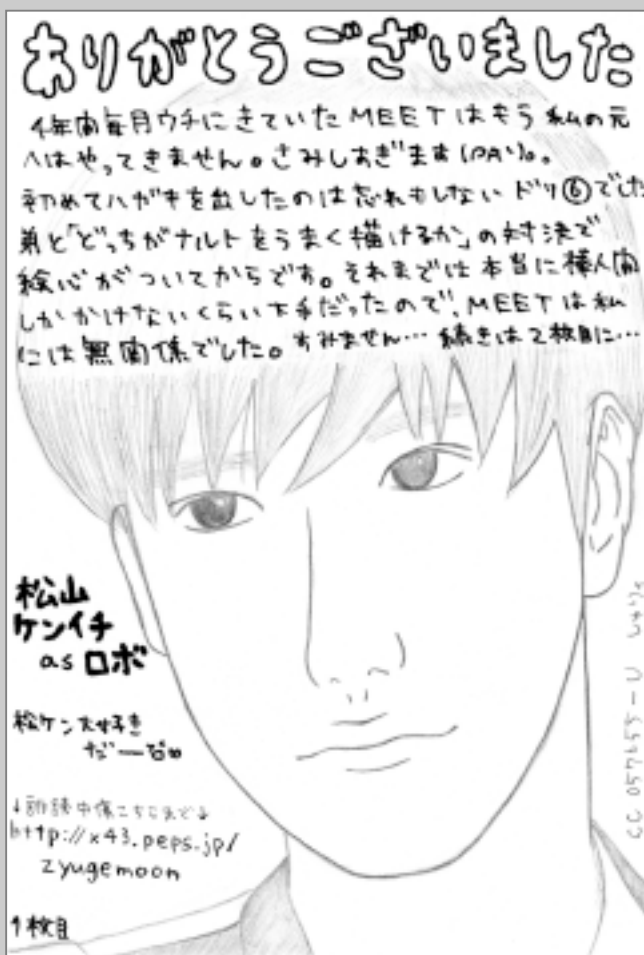
メンバーからのおたより



★冬瑠さん、ホントに時間が経つのはあっという間ですね。今年ももう後半ですもんね。★恵さん、14 回目のお誕生日おめでとうございます！★九喜さん、確かに腰の方がよさそうですね。あのドラえもんも、最初は（最初だけですが）タケコプターを腰につけてたんですよ。④



★果樹さん、ガッツポーズが目に見えます。これからも末永く EA そして MEET と仲よくしてくださいね。 ★優奈さん、はじめまして。オーストラリアの研修旅行、楽しみです。今からしっかり準備してるんですから、きっと思いっきり楽しめると思いますよ。 (編)



★しゅりイさん、4年間お疲れ様でした。棒人間しか書けなかったなんて信じられないくらい、いつもステキなイラストをありがとうございました。3年半でとても上手になりましたね。火をつけてくれた弟さんに感謝ですね。MEET を宝物と言ってくれるなんて、編集部はとても嬉しいです。 (編)



★巴影アラギさん、ぜひぜひマッスもたくさん描いちゃってください！ 編集部はみなさんが描きたいものが見たいですよ！ ハロウィンのイラストも楽しみにしていますね。どなたと合作されるのか、今からワクワクしています。 ★樹羅さん、はじめまして。受験勉強頑張ってますか？ 苦手な英語、EAを楽しみながら大好きになってもらえたら... と思っています。応援していますよ！ (編)

この秋！アカデミー出版

超面白い本が立て続けに3冊発行されます。その内容

第1弾

今月発売

シドニイ・シェルダン 作

『**新十戒**』1,300円(税込)



“なんじ隣人のものを欲するなかれ……” ご存じユダヤの民の指導者モーセが神との約束のもとに定めた十戒。しかし、それはもう2000年以上も前の話。目まぐるしく生きる現代人には通用しなくなってしまった。世の中はどんどん複雑になっているのだ。

そこで、シドニイ・シェルダン先生が超面白い十戒を提案する。ええっ？ 十戒を守らない方が幸せになれるんだって？ あとは読んでのお楽しみ！

第3弾

ジョン・グリシャム 作

『**薬害**』(上・下)

最近、日本でもインフルエンザの特効薬が服用を予言したようなストーリー設定にびっくり。

ドラッグ中毒患者への特効薬を開発した製薬会社がとんでもない行動を取るようになる。それに駆けずり回るが、製薬会社に対し集団訴訟を起す。貧乏弁護士はたちまち米国有数の金満家になる計算か、それとも……。

からうれしい 3 連発！

を MEET の読者だけに少しバラしてしましましょう。

第2弾

10月発売予定

天馬龍行 編

『^{オー}365日笑っちゃ0
ジョーク世界一』

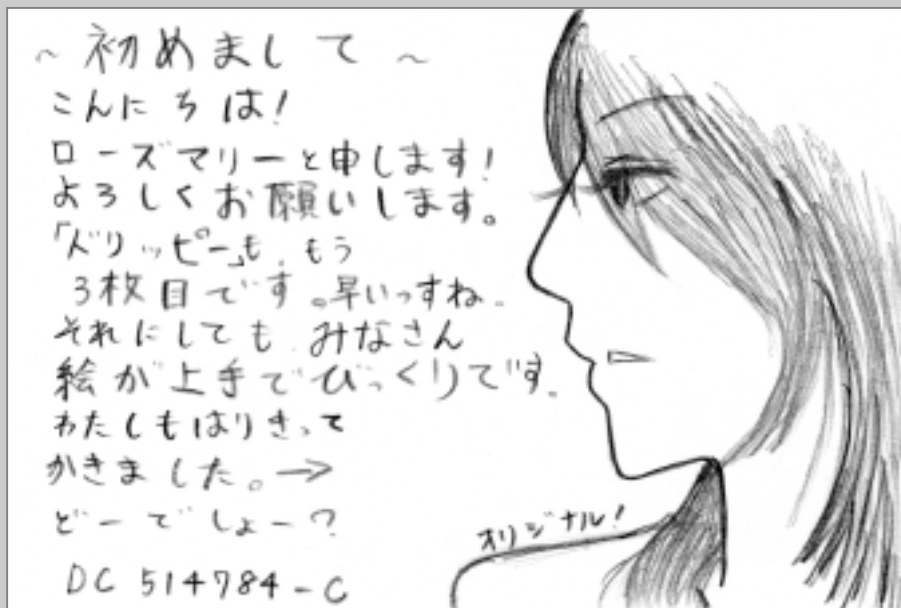


天馬龍行先生が半世紀に及ぶ外国の友人との交流や海外旅行、外国生活などを通じて教えられたり聞き及んだジョークを収めた本。特に面白いものだけを選んであるから爆笑すること間違いなし。1日1題読めるように編集されているが、この面白さなら1題で何日も笑える！ 20年も前から温めていた企画だとか。早速本屋さんでチェックしよう！

用者の不審な行動を誘発しているのではと騒がれた。そ

会社が万全な態勢で治験に臨むが、被験者の数パーセン
いち早く気づいたひとりの貧乏弁護士、正義を求めて
してぼろ儲けを企む弁護士グループの誘惑に負けてし
。しかし、やがてその日が……。最後に勝つのは冷徹





★水都さん、最後のおハガキは先月号に緊急掲載したので順番が逆になってしまってますみません。またいつでも『コインの冒険』に帰って来てくださいね。 ★ローズマリーさん、はじめまして。『ドリッピー』は楽しんでいただけていますか？ ローズマリーさんのイラストも、とても上手ですよ。 ⑧

現在7ヶ月の息子の子育てに追われながら、ひとかけらの向学心を満たすべくEAにお世話になっています。NOTES & EXERCISESをする余裕がもてず唯々CDを聴いているだけですが、それだけでも不思議と聴き取れてくるものですね。
私はかつて流行した米国大学日本校の卒業生という経歴があります。英語が好きで入ったわけではなく(当時成績は「2」でした)、入るところがなくて入ったのでした。4年で卒業しましたが、TOEFLを基準までクリアするにはとても苦労しました。でもいつしか英語が好きになっていました。たいして話もできないし得意でもないですけど、単純に楽しく感じられるようになりました。
そんな折、EAと出会い、学生時代の苦い思い出も重ねつつ聴いています。
現在『追跡』で、来年1年するとEAを全てやったことになります。毎月の楽しみがなくなりそうで、本当はもっと続けたいですが、今まで届いたCDをもう一度聴き直してみようかなと考えています。そのうち息子の役にも立つ日が来るでしょう(笑)
育児が落ち着いたら、生の英語に触れるべく、ダイビングもしたいので(潜る方)海外にも行こうと思っています。
今度は学生時代の、英会話にまつわる珍体験を送る予定です。

CC 59473-Q よっしい



★よっしいさん、言葉は楽しむのが一番ですね。聴いているだけとのことですが、もう3年もEAを頑張っているのですから、だんだん耳が慣れてきているんでしょうね。学生時代のお話、楽しみに待っていますね。 ★全茶さん、2回目ですよ! 初めての英検はどうでしたか? ぜひ結果を報告してくださいね。 ⑧

★DC512244-A★
 今号は2枚目の読みくらげです！

こんにちは66

●優さん、前回出した「ハガキ」載っていたのは2回目です。載ってないハガキは...は、おめあて66(40歳)様、2枚とも載せてください66(40歳) もう1枚目 66(40歳) になりました66(40歳)。

●このハガキが載るとしたら、もうその時は...9月？なんですね。早い66 66(40歳)は、毎日勉強に励んでいます。もっと9月にならば、もっとおめあて66(40歳)な66(40歳)66(40歳)。

●突然ですが、私 実はお稽古の境(カネ)に(クマ)を習っています☆バレー大愛だ、なかなか上手になれないけど、でも楽しいですよ66(40歳) もっと頑張りたいです66(40歳)。(40歳)最近、思うんですけど、「継続は力なり」ってホントですね。バレーも英語も諦めず、コツコツ努力することが大切なんじゃないかなと思います。どなたかやっている方、いらしたら、バレーも教えてくだいな66(40歳) お友達になりたいです(40歳)。

●あと、これはすごい前の話なんですけど、香木様にニコがバールに交わりました66(40歳)色々な発見があって、とても楽しかったです。1番楽しかったのは、私の英語が、現地の方に通じたこと66(40歳) 良い思い出です。これからもうバレー、英語が上っていくと思うので、どうぞ 皆様、よろしくです66(40歳) m(40歳)。

こんにちは66 1枚目

9

だいたい前の話ですが、友だちが1週間ほど、カサダへ行ってました。帰国した次の日、朝、教室の前でその友だちが「お久しぶり☆」と抱きついてきました。

No.263 (2月)以来、ちょっと驚いてしまいました。久しぶりにハガキを書きました。どうおめあて下さい m(40歳) m(40歳)。

あと、今回は調子に乗ってもう1枚書きました。そちらは後でめあていただけますと嬉しいです。

なんたかまわらないものを描いてしまいました(汗) すいません。お！アの友だちが、お！アがバールに交わりました(笑) 大興奮していました(笑)。

DC494699-W

こんにちは66 2枚目

東京です。

今日は2枚書かせていただきました。ぜひおめあて下さい。

コインの12が、届いたら、送金しようと思ってるので、このハガキが最後になりようと思います。

編集部様 -Special Thanks-
 2006年の5月、No.254から何度もハタクリなイラストをのせていただき(さらにコメントまで!!) 本当にありがとうございました。これからも、EAのCDを聞きまわって、英語をたのしく学んでいきます。本当にお世話になりました m(40歳) m(40歳)。

2枚目は「大と少年」です。大きい犬に、おこめが、いいね... ねえ、読者(40歳)...

★優さん、前回も掲載していますよ！ 受験勉強に英語、そしてバレー。とても忙しそうですがコツコツと頑張ってくださいね。楽しんでいる優さんなら、きっとどれもステキな成果が出るとおもいますよ。 ★チホさん、お友達みたいにいろんな文化に馴染んでいくのは、世界が広がってとても楽しいことですね。チホさんもEAをいっぱい聴いて、どんどん海外の文化に触れてみてくださいね。(編)

お久しぶりで！ さやかへです！

(字が汚いですがごめんなさい)

高校に入塾して、英語がさらに楽しくなりました。英検も受験して、合格しているかどうかは、不安ですけど、ドリーパーのおかげで、前よりも英語を理解することができました。ありがとうございます。さらに上を目指して頑張りたいです！

雅さんへ...同じD-Nファンかいて、おこめが、いいね... ねえ、読者(40歳)...

DARK D-NWAL

DC505654-U

MEETNO.263の、おめあて66(40歳)様、2枚とも載せてください66(40歳) もう1枚目 66(40歳) になりました66(40歳)。

今、おめあて66(40歳)様、2枚とも載せてください66(40歳) もう1枚目 66(40歳) になりました66(40歳)。

DC494699-W

こんにちは!! "ドリーパー"が、おめあて66(40歳)様、2枚とも載せてください66(40歳) もう1枚目 66(40歳) になりました66(40歳)。

あ、1年間、おめあて66(40歳)様、2枚とも載せてください66(40歳) もう1枚目 66(40歳) になりました66(40歳)。

DT 363330-W

★さやかっぺさん、英語が楽しいのはとてもいいことですね。楽しんでいけばきっと上達します。英検もきっと合格ですよ！ ★アグリーガールさん、常連のみなさんの卒業は本当に淋しいですよ。編集部も同じ気持ちです。どうぞみなさんと、MEET をどんどん盛り上げてくださいね～！ ★キノさん、こちらこそ改めてよろしくお願いします。これからもおハガキたくさんくださいね。(編)

One-Line Joke

Father : Don't be ridiculous! We can't keep a pig in the house. Think of smell.

Son : Don't worry. He'll soon get used to it.

☆懸賞☆

One-Line Joke をくすつと笑えるような自然な日本語に訳してみよう。
自信のある方はMEETの編集部「One-Line Joke係」まで
送ってください。10月10日(水)締切り(消印有効)です。
優秀者に金一封を、佳作者にアカデミー出版の書籍を贈呈いたします。
発表は3ヶ月後のMEET誌上(No.273)で行ないます。
なお、優秀者がいない場合は、佳作賞のみとします。

Let's challenge!!

前回のジョーク 結果発表

He gave a tremendous speech. Everyone was moved...toward the exit.

優秀賞

☆ 彼、すごい演説をしたよね。誰もがそれに突き動かされていたね。……出口へ、ネ。 (DC 512742 山崎さん)

佳作賞

☆ 彼のスピーチはものすごかったわ！ 誰もが動かされたもの……出口の方へだけど。 (QC 108992 ♥バンビ♥さん)

☆ 彼は世紀の大演説を行い、聴衆たちは皆、心を揺り動かされた……出口の方向に……。 (CC 059198 眞鍋さん)

☆ 彼のスピーチはすごかった。皆、動かされたから……心でなく、出口の方へ。 (DC 516570 TOYAMAさん)

☆ 彼のスピーチは驚異的だった。誰もが突き動かされた……出口へと。 (CC 058010 みゆきさん)

☆ 彼はものすごい演説を行い、誰もが心を動かされた。出口へ向かいたいと。 (DC 494713 植竹さん)

☆ 彼の饒舌なスピーチは、聴く者すべてを突き動かした。ただしその心を……、ではなく出口へと。
(HD 107808 山田さん)

正解者

☆ DC 504970 元原さん	☆ DC 500208 勝畑さん	☆ DC 512267 木村さん	☆ DC 510056 森さん
☆ DC 509696 片田さん	☆ DC 510579 横井さん	☆ DC 509261 吉田さん	☆ DC 511719 飴太郎さん
☆ CC 059454 中西さん	☆ CC 058334 矢谷さん	☆ CC 057898 上村さん	☆ QC 110800 chen-minさん
☆ QC 110288 風間さん	☆ QC 111296 織田さん	☆ QC 111781 ブフさん	☆ QC 111585 good girlさん
☆ QC 108425 佐藤さん			

審査委員長からひと言

今回はちょっと意地悪して、みなさんに翻訳の限界にチャレンジしてもらいました。どんな訳が来るか楽しみにしていたのですが、いつも通りたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

このジョークのポイントは、文中の“move”に「人を感動させる」という意味と「人や物などを動かす」という意味があるのを上手く使ったところにあります。それが“was moved”になっていますから、意味的には「感動させられた」「動かされた」となります。それを日本語にどう訳すかが、ジョークとしての勝負どころです。

訳としても正解で、語調もいい山崎さんの作品に優秀賞を差し上げたいと思います。なお、正解者の中には佳作賞のものとあまり変わらないものがたくさんあって、その線引きが苦しかったのですが、“面白さ”という点で決めました。次回もよろしく！

我々が能登でショートステイをしていた外国人のために通訳ボランティアをしてきました。毎日EAを聴いてたおかげで会話には苦勞しませんでした。その時の体験談をしましょう。参考になればうれしいです。

まず靴は着脱しやすいタイプで。お寺などに上がる時モタモタにられないので。

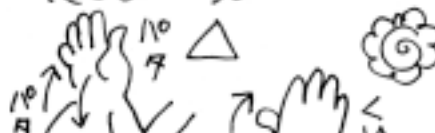
相手の食べられないものを聞いておこう! 食事の時も食材の説明ができるとうれいですね。



スケッチブック&ペンには役に立ちました。通いがない時は綴りや

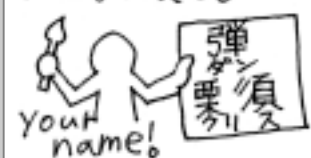
手書きは西洋式の方が良さそうです。

絵を書け! 漢字で名前を書いてあげたらよくなりますよ! 筆ペンだとなお良し。



漢字で名前を書いてあげたらよくなりますよ! 筆ペンだとなお良し。

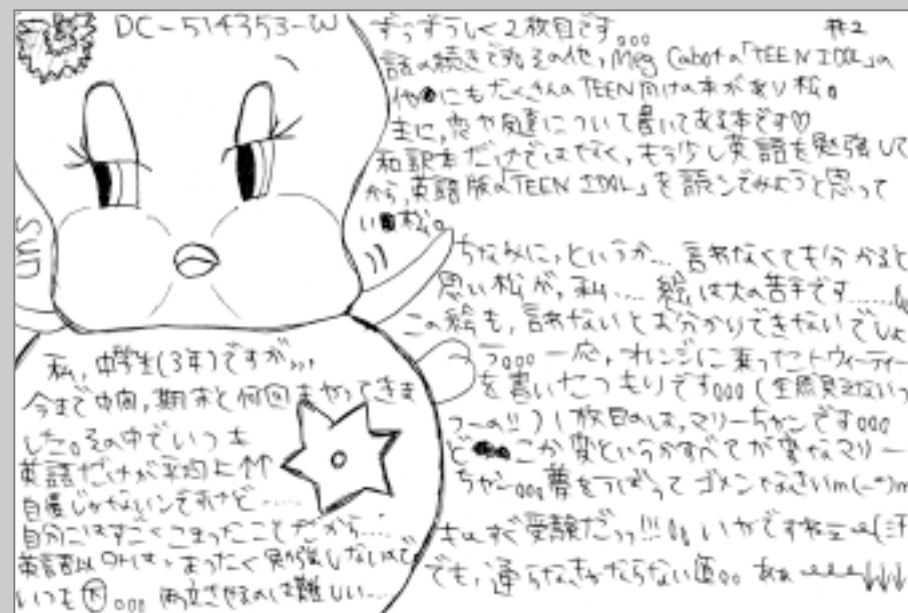
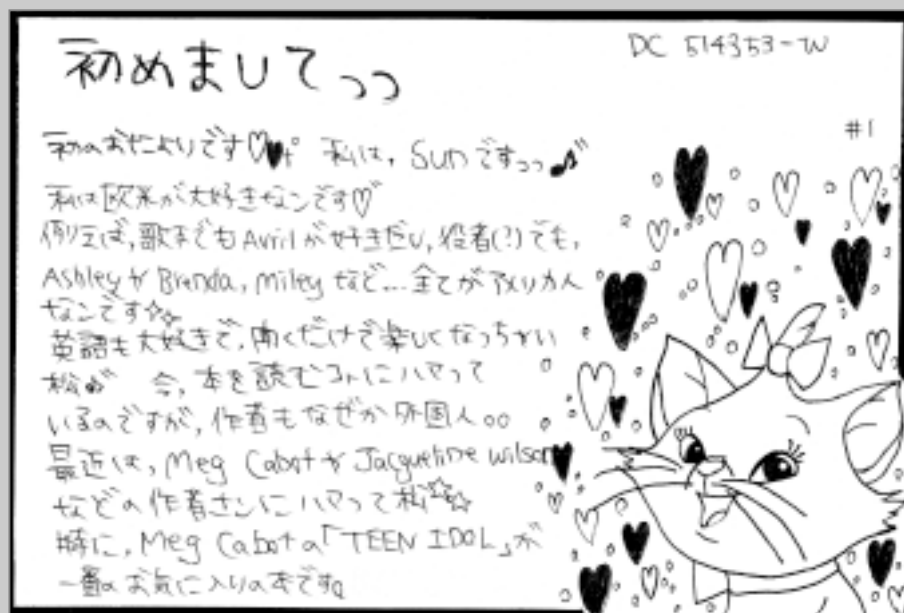
音楽は世界の共通語! ピアノをひいたらアメリカ人のおじさんが『キミの熱いハートに答えた』と言って『ブルースを少しひいてくれた。楽器はひけて損は無し。』



どうですか? あとはEAを聴いて精進せよ! CC059842W ナカハシ



★ナカハシさん、役に立つ体験談をありがとうございます。靴やスケッチブックなど、どれも「なるほど」と思うことばかりですね。私の友人は夏に花火を用意して喜ばれたそうですよ。名前を漢字にしてあげるといのも、なかなか面白いですね。★ちーすけさん、はじめまして。送っていただいた和紙のハガキはもしかして手漉きですか? 紙面では、和紙の落ち着いた風合いが伝えられなくて残念です。 (編)



★Sunさん、はじめまして。毎日楽しく英語に接しているみたいですね。聞くだけで楽しくなっちゃうなんて、うらやましがる人がいそうな話です。まさに好きこそものの上手なれといった感じですね。Sunさんならすぐに本は原文、映画は字幕なしで楽しめるようになれるそうですね。その調子でほかの科目も頑張ってくださいね。 (編)



★舞氷さん、2年間お疲れ様でした。そして、いつもカッコいいイラストをありがとうございました。毎月楽しみにしていましたよ。またぎつと帰って来てくださいね！ 待ってますよ～！ (編)

Traditional Idiom & Slang

リネイ先生のよく使われるイディオムとスラング

“can’t make heads or tails of something”

- Keener I’m not sure now if I want to marry Gloria or not.
I still love Lisa.
- Slacker Really What are you going to do?
- Keener I don’t know who want to marry.
I **can’t make heads or tails of it**.



Ms. Rinai Olsen

Think of a coin. A coin has two sides; a “heads” and a “tails” side. When you simply cannot make a decision, you say “I **can’t make heads or tails of it**”. This means that even if you flip a coin to let the coin help you decide, you still can’t come to a conclusion.



★若草さん、1ヶ月の間に張り切って4枚ものおハガキ、ありがとうございます！ 若草さんも気がつかないみたいですね(笑) EAを、そしてMEETを楽しんでいただいているようで、編集部はとても嬉しかったです。海外研修には出かけましたか？ (編)

MEETでは楽しいおたよりをお待ちしています！

MEETは、みなさんからのハガキやお手紙で作られていく、EA会員のための月刊会報誌です。英語を楽しく勉強するために、成果の声や自分の好きなイラストを描いたおハガキ、写真を添えたお手紙など、全国からおたよりを集めて掲載しています。新しく会員になられた方や、もうすでにMEETをご覧の方など、会員であれば子供も大人も参加は自由！ 「イラストが描けないからダメだ」「ドキドキしちゃう」なんて考えずに、お気軽に送ってみてください。ここだけの話ですが、掲載される確率は高いですよ！

海外での体験記も募集中！

みなさんの海外留学や海外旅行での体験談も募集しています。ビックリしたこと、面白かったことなど、海外ならではの話を、できれば写真も添えてお送りください。また、これから海外へ出かける会員の方へのアドバイスもお待ちしています。

※ 掲載される面にも会員番号を忘れず記入してください。あて先はp.16をご覧ください。なお、お送りいただいた写真はご返却できませんので、焼増しなどをしてからお送りください。



クリスマスのイラスト也大募集！ 10月10日(水)締切りです。

EAの『ハッピープリンス』をやって2ヶ月経ちます。

昔はラジオで基礎英語を聴いていたのですが、テレビやラジオと違って『ハッピープリンス』は教材的に優れていて、やり通すことができました。メグ・ライアン先生ぶりは素敵で、またパクンの教え方も上手いです。頭の中にストーリーが展開して行って、とても覚えやすいです。

これから1年間、『ハッピープリンス』を楽しみたいと思います。みなさんも一緒にやりましょう！

ところで『ハッピープリンス』のPretty Girl、メグ・ライアンの映画『シティ・オブ・エンジェル』を見ました。メグ・ライアンがとても映画に真剣で、医者役なのですが、メスの使い方をとてもよく勉強しています。ニコラス・ケイジと共演していますが、はまっていました。

それから『電話で抱きしめて』『めぐり逢えたら』『ユー・ガット・メール』も見ました。メグはとても笑い上戸でコメディ映画によく似合います。また、女優として繊細で頭もよく、日本通です。日本車の話とかが映画に出てきます。演技も上手く身のこなしがいいです。ダイアン・キートンと共演していた『電話で抱きしめて』が一番よかったのですが、これはコメディで、犬が出てきて笑えます。

みなさんも、ぜひ1回見てみたらいかがでしょうか。

HD107775-O 寺田



★寺田さん、『ハッピープリンス』を気に入っていただけて感激です。1年間楽しんでくださいね。ラブコメの女王とも言われたメグの笑顔は、本当にチャーミングですね。★鴉烏さん、コカ・コーラのCMソングは聞いているだけで楽しくなりますね。 (編)

どしどし送って下さい

▼EA 会員のみなさんからの**おたより**や**写真**、**イラスト**をお待ちしています！ 写真はご返却できませんので、焼増しなどをしてからお送りください。モノクロ掲載ですのでイラストは黒インクで、また、縮小されるので**イラストに添えるメッセージは大きな字で、ハッキリと**書いてください。**海外での体験記、嬉しいご報告など文章のみの投稿**もお待ちしております。(長めの文章はこちらで編集させていただきますので、あらかじめご了承ください)

▼文通やメル友、情報交換を希望する方は、自己紹介と希望する条件などを書いてください。また手紙やメールを出す時は、相手のアドレスと自分のアドレスを正確に書き、お断わりする場合はその旨を相手に伝えるなど、ルールとマナーを守って楽しく交流してくださいね。

投稿のきまり

▼One-Line Joke は**10/10(水)**、メンバーからの**おたより**は**9月末までに**投稿してください。どちらもMEET 12月号に掲載予定です。(メンバーからの**おたより**は、応募者数によって掲載月が多少前後することもあります。あらかじめご了承ください)

▼必ず①**住所**②**氏名**③**会員番号**の3点を明記してください。イラストの描いてある面など**掲載される面にも会員番号を書いて**ください。なお、退会された方、休止中の方の会員番号は無効です。下記のあて先まで、たくさんの楽しいおたよりをお待ちしています！

〒150-8688 東京都渋谷区鉢山町 15-5
アカデミー出版 編集部 MEET 係

編集後記

■これまでMEETでも何度もご紹介をしてきた、オーソン・ウェルズ先生の『市民ケーン』。いつ観てもすごいなと思っていましたが、またしても名画のベストワンに選出され、改めてすごい作品だと思いました。毎年たくさんの映画が作られて、いろいろな記録がどんどん塗り替えられていくのに、もう何十年も1番であり続けているって本当に素晴らしいことですね。芸術の秋、ぜひDVDでも観てみてください。作品の素晴らしさはもちろん、25歳の若さで監督・脚本などを手掛けたと思うと、その天才ぶりにため息が出ちゃいますよ。

■そして、読書の秋を楽しむみなさんは、ぜひアカデミー出版の新作をチェックしてくださいね。どれも一気に読んでしまいたくなる面白さです。秋の夜長にピッタリですよ。

■気がつけば秋。クリスマスのイラストの募集を始めると、もうそんな時期なんだとしみじみしてしまいます。みなさんのおハガキにもよく書かれています、本当に時間が経つのはあっという間ですね。今年1年やり残したことがないように、そろそろラストスパートをかけたいものです。やり残したこと……例えば国内旅行とか、もしくは海外旅行とか。うーん、旅行ばかりですね。

■学生時代はビックリするくらい時間があっという間に思えます。映画を観てテレビも見て、バイトをして遊んで、もちろん勉強もして、旅行にも行って。その上、夜更かし朝寝坊。どうやって時間を作り出していたのか自分でも不思議です。学生のみなさんはどうしているのでしょうか？ ぜひ時間の増やし方(?)を教えてください。